株式会社 九櫻（くざくら）

柔道衣のパイオニア 世界のトップ柔道家が愛用

海外発注可
納期相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン

世界的なブランドの「S」字ロゴ入り柔道衣

業務内容 国際柔道連盟認定の柔道衣や柔道畳を製造

「九櫻」は創業100年の歴史を誇る総合武道具メーカー。主力商品の柔道衣ではパイオニアとして知られている。IJF（国際柔道連盟）主催の国際大会では、IJF認定の柔道衣以外は着用できず、その規格の標準型は同社の商品が原型となっている。現在、標準色となっている青や白の柔道衣を初めて販売したのも同社だ。世界に13社しかないIJF認定の柔道衣メーカーの一つであり、トップクラスの柔道家たちに古くから愛用されてきた。

また、柔道畳でもIJFと全日本柔道連盟より認定されており、両団体での認定を受けているのは同社のみだという。柔道関連用品はすべて扱っており、剣道や拳法などで使う防具類も製造・販売している。

強み 一貫生産体制を武器に細かな要望にも対応

IJF認定の柔道衣メーカーで唯一、生地の織布（しょくふ）から縫製まで社内一貫生産できる設備と技術を併せ持つ。その強みを生かした商品開発力と生産技術力は定評があり、同社ブランドの柔道衣は世界最高品質と評価されている。

IJFの規格は五輪が開催されるたびに厳しくなるが、その制約の中でも勝負にこだわる顧客の要望に応えられる体制が特徴だ。「相手につかまれにくく」、「首筋だけ肌に優しく」などと多岐にわたる要望でも、早川巌会長は「自社に機械があるから研究開発ができるし、色々試せる」と一貫生産の強みを説明する。

生産体制 東京五輪の需要見込み 第2工場を新設

2020年開催の東京五輪パラリンピックに向け、さらなる需要の増加を見込む。生産体制を拡充するため、平成29年には本社近隣に第2工場を建設。従来よりも約30％多く柔道衣の生産が可能になった。同28年には同市内で子会社の早川縫製工業（株）を設立した。今後も国内一貫生産にこだわり、着々と国内での生産体制を強化している。

また、同30年10月には東京都文京区に「東京ショールーム」を開設。柔道衣および関連商品の展示と体形に合うサイズのアドバイスを行い、販売促進にも意欲的に取り組んでいる。

今後の展望 海外売上げ引き上げ 愛されるブランドに

国内で少子化が進む中「海外に目を向けなくてはいけない」と、三浦正彦社長は強調する。平成30年10月、「早川繊維工業」から「九櫻」への社名変更を機に、柔道界で名の通った「KUSAKURA」ブランドの海外展開を強化。これまで28カ国に輸出してきたが、中国や韓国、欧州などでの販売増加のため、各国の柔道界や販売業者と個別に交渉を進めている。現在、海外販売の売上げはわずかだが、「数年後には20％―30％に引き上げたい」と目標を定める。

世界中には、日の丸と同じ真っ赤な「S」のブランドロゴが付いた柔道衣に憧れる、トップクラスの柔道家たちがいる。早川会長は「これからも世界中の柔道家に愛されるメーカーでありたい」と力を込める。

さまざまな要望に一つずつ応える

社内で一貫生産できる設備

当社の歴史

大阪30

当社の100年の歴史は河内木綿を使った柔剣道衣の製造・販売から始まりました。社名とブランドである「九櫻」の名称は、創業の地が恩智〈大阪府八尾市〉で、14世紀の南北朝時代に“忠君の武士”として活躍し、恩智城に構えた武将の紋所が「九櫻」であったことが由来となっています。

代表取締役社長 **三浦 正彦**さん

http://www.kusakura.co.jp/

主な事業内容
柔道衣、剣道防具・逮捕術防具、柔道畳

主な取引先(納入先)
全国のスポーツ店、武道具店、各警察本部、防衛庁、各教育委員会など

●住　所　〒582-0007 柏原市上市3-11-21
●TEL　072-972-1361
●FAX　072-971-8980
●創　業　大正7年5月
●設　立　昭和14年4月
●資本金　7,930万円
●従業員　94名